



【手対決！】



手袋 VS 左手

1月23日、大阪の運輸所、出口の通路（セキュリティ扉）で、恐怖の死角である背後から、ホーム出場中の**運転士**に対して、**指導科S助役**が、「●●手袋しろ！」と、罵声を浴びせました。

その時の**S助役**は、制服上着を脱ぎ、ビニジャン姿で、左手はいつも通り、皆さんご存じのズボンのポケットに入れた格好でした。

以下が、**S助役**と**●●運転士**のやりとりです。

- **S助役**・・・「●●手袋しろ！」
- **運転士**・・・「ビックリした。所内から手袋するようになっていませんか？何処に記載されていますか？」
- **S助役**・・・「何処でするんや!？」
- **運転士**・・・「そこの玄関でしますわ。」
- **S助役**・・・「・・・？」
- **運転士**・・・「その左手は何ですか？管理者ならポケットに手を突っ込んでも良いんですか？」
- **S助役**・・・「・・・。」
- **運転士**・・・「12時32分、現認！原メモよし！」
- **S助役**・・・「・・・。」

そもそも、手袋使用の根拠はなんでしょうか？

各車両所構内や新大阪引上線での手袋不使用は認められています。規程類にも手袋使用の場所を定めた文言はありません。唯一、「まごころサービスブック」に、『汚れた清潔でない手袋はしてはいけない。』と書いてあるだけです。

当該運転士は、乗泊地で毎回手袋を洗濯するほど、常に清潔な手袋を使用しています。

皆さん！！

手対決、どちらに軍配があると思いますか？

明らかに、手袋セーフ、左手（ポケット）がアウト、軍配は手袋の勝ち！！

**【S助役！！今回は、監視カメラもあるので、「覚えてません。」「記憶にありません。」と言
い逃れは出来ませんよ！】**